



# 学校だより 令和3年 8・9月号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E22/>

尼崎市立浜田小学校 校長 仁科 良久

## 2学期のスタートです

5日間の夏季休業延長が終わり、いよいよ2学期が始まります。今年は約1か月間という夏季休業でした。子どもたちは、学期中とは違った時間と環境の中で、多くを学び、たくさん成長したことでしょう。それらを大いに発揮して、充実した2学期を送ってほしいと思っております。

一方で、8月20日より兵庫県に新型コロナウイルス感染拡大防止に係る非常事態宣言が発令されました。これにより、楽しみにしていた学校行事等の変更が必要となってしまいました。そういった意味では、引き続き、辛抱が必要な生活が続いていくことと思われまます。

しかし、ピンチをチャンスに変えるべく、前を向いて進んでいくことが大切です。人はどのような環境においても、学びを進めることができます。失ったものではなく、今あるものを活用し、何を生み出すことができるのかを考えていきましょう。

さて、今年の夏は東京でオリンピックが開催され、世界中のアスリートがそれぞれの想いと国民の夢を背負って、競技を行いました。日本の選手も大活躍を見せてくれました。印象に残っているシーンはたくさんありますが、中でも試合後の選手たちが口々に述べた言葉が、心に残っています。

それは、「オリンピックを開催していただき、ありがとうございました。また、これまで皆様にサポートしていただき、本当にありがとうございました。」という言葉です。

多くの選手が口にした言葉ですが、私自身が初めて聞いたのは、女子柔道の渡名喜風南(となき ふうな)選手の言葉でした。彼女は、金メダルをめざし、また、金メダルを期待されていました。しかし、残念ながら決勝戦で敗れ、悔し涙を流しながらのインタビューでした。自分の弱さのために負けてしまったとの反省を述べた後で、しっかりテレビカメラに向かい、支えてくれた人々に感謝の言葉を伝える姿が、とても印象的でした。

人は、一人では生きていけません。支えあい、知恵と力を合わせて毎日を過ごしています。

オリンピックで金メダルを獲得するためには、選手本人の想像を絶する努力と才能が必要です。それと同時に、選手の夢の実現を信じ、応援する多くの人々の、膨大な支援も必要とします。オリンピックの選手たちは、そのことを誰よりも理解しているからこそ、試合後のインタビューで口々に感謝の気持ちを述べることができたのではないのでしょうか。

2学期も、浜田小学校の児童一人ひとりが輝ける場所を作り出すために、知恵を絞り、工夫を重ねていきたいと考えております。そのためには、子どもたちの夢の実現を信じ、応援をしてくださる、保護者の皆様や、地域の皆様の引き続きのご理解と、ご支援が不可欠であると考えております。今学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

## 8・9月の行事予定

月	火	水	木	金
8月30日 始業式 大掃除  定時退勤日	31 4校時終了後下校 スクールカウンセラー来校日	9月1日 給食開始 身体測定(6年)	2 夏休み作品展 (低学年)  身体測定(5年)	3 夏休み作品展 (高学年)  身体測定(4年)
6 身体測定(3年)  定時退勤日	7 身体測定(2年) スクールカウンセラー来校日	8 委員会活動 身体測定 (1年・はまだ)	9 代表委員会	10
13  定時退勤日	14	15	16 自然学校説明会 14:45～ 修学旅行説明会 15:45～	17
20 敬老の日	21 朝会 教育実習 (10月12、15日まで) スクールカウンセラー来校日	22 クラブ活動 (アルバム写真撮影)	23 秋分の日	24
27 放課後学習  定時退勤日	28 スクールカウンセラー来校日	29	30 放課後学習	

※今後の感染状況によっては、変更となる場合があります。

明るく素直な2年生。1学期は、初めての「はまだっ子カーニバル」でお店を出し、それぞれの役割を果たし楽しむことができました。校区探検やいもほりの校外活動では、交通ルールを守り、地域のよさを感じることができました。

2学期は、日々の学習に加え、体育大会や図工展などの行事もひかえています。また、1年生とのてととクラブの活動もあります。友だちと助け合い、「やってみよう」の気持ちで何事にもチャレンジしてほしいと思っています。

2年生担任一同